



くるま 車いすテニス

パラリンピック

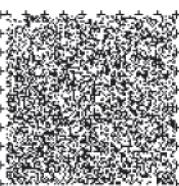
くるまの車いすに乗ってプレーするテニスです。ツーバウンドでの返球が認められている以外は、一般的のテニスとほぼ同じです。



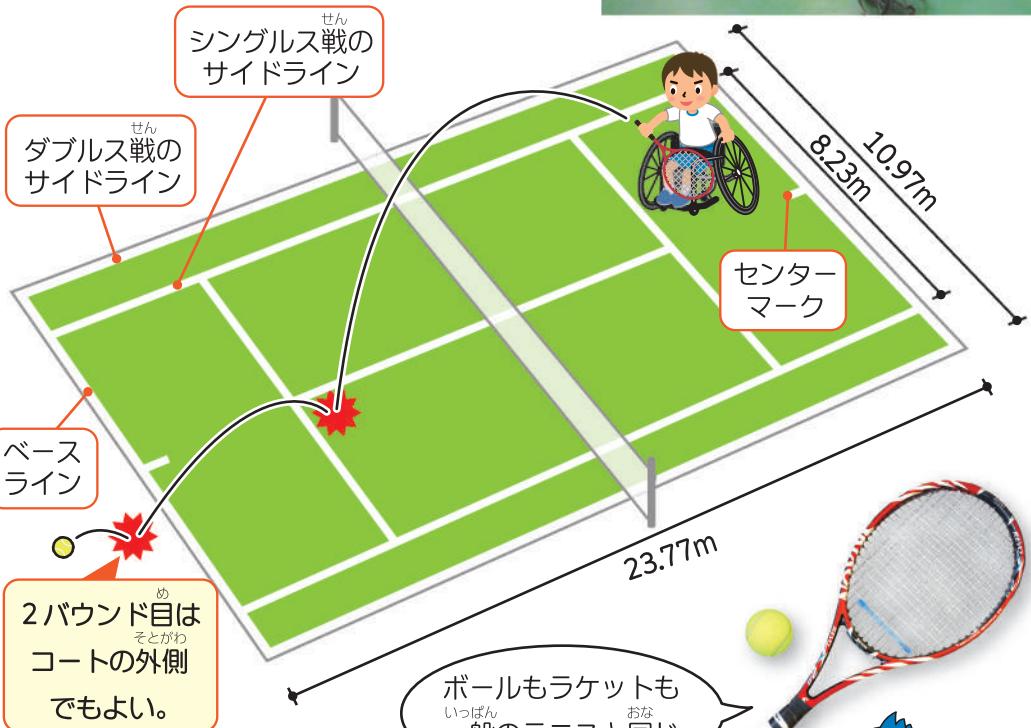
ルール

ボールを相手コートに打ち返すまでに2度のバウンドまで認められています。ワンバウンド目がコートに入っていれば、ツーバウンド目はコート外に出てもよいです。

サーブする時は、車いすを静止させたのち、車輪を一度だけこいて構いません。

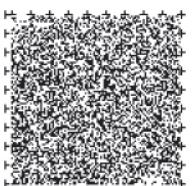


ネットの高さやコートの広さ、使用するボールなどは一般的のテニスと同じです。



ちょっと休憩

車いすテニスは、1992年のバルセロナ大会からパラリンピックの正式競技になったよ。現在は、パラリンピックの他に、テニスの4大大会「全豪オープン(オーストラリア)」「全仏オープン(フランス)」「温ブレドン(イギリス)」「全米オープン(アメリカ)」に車いすテニス部門が設けられているんだよ。



競技用車いす

素早い方向転換が可能な専用の車いすで、タイヤがハの字に装着されているため、テニスならではの急発進やターンをすることがあります。プレーをする上で、ラケットを持ったまま車いすを自在に操作するスキルが大切になります。

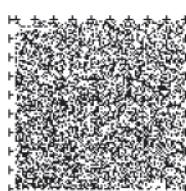


車いすバスケットボール
(28ページ参照)と異なり、基本的に選手同士の接触はないため、バンパーは付いていない。

バンパー



バランスを崩して倒れないように転倒防止用のキャスターが付いている。



ポイント

くるま 車いすテニスの種目

一般のテニスと同様に、シングルスとダブルスがあります。

性別や障がいの種類や程度によって分けられた3つのクラスごとに試合が行われます。

— 3つのクラス —

だんし 男子クラス

- 男子シングルス
- 男子ダブルス

じょし 女子クラス

- 女子シングルス
- 女子ダブルス

クアードクラス

- クアードシングルス
- クアードダブルス

下肢に障がい(脊椎損傷や下肢切断など)
がある選手



豆知識

ニューミックス

障がいのある人との人が一緒に組むダブルスを「ニューミックス」と呼びます。(パラリンピックの種目ではありません)。車いすを使用する障がい者のみ、ツーバウンドのルールが適用され、障がいのない人はワンバウンドで返球する必要があります。障がいのある人もない人も、一緒に楽しむことができます。

